

駅から歩いて1時間

湯本駅 (南部)

温泉街を巡るプチ旅行

旅館に泊まり街並み散策



JR常磐線湯本駅前。写真の像は「ワンモア・タイム」作。黒川晃彦氏。

周辺MAP



コロナ禍で打撃を受ける市内の観光業。いわき湯本温泉も例外ではなく、国、県、市の観光振興策や、フラ女将といった独自のPR作戦で持ち直しつつあった客数は、コロナ禍で減少、苦境が続いている。駅から温泉街、旧街道を散策し、往時を振り返った。

前回の湯本駅北部の記事では、炭鉱の歴史や跡地などに

触れた。今回は湯本駅のもう一つの特徴である温泉街と、陸前浜街道(県道56号)を歩いてみた。

同駅を降り立つと、足湯の「愛湯物語」や、温泉旅館協同組合と案内所が駅前にあり、温泉街にやってきた、という気分が味わえる。

駅周辺には九つのブロンズ像が設置されて、全てを見て回るのも面白い。

駅からまっすぐ進むと、高台の御幸山公園。階段を上ると町を一望でき、春先には約三百本のソメイヨシノが咲き、壮観だ。

狭い路地に入ると、大小さまざまな温泉旅館、ホテルが



この地区 オリジナル

駅前周辺には、九つのブロンズ像が設置され、ベンチの横に座って自撮りの撮影ポイントに。

同組合では、宿泊案内、レンタルサイクルの貸し出しも実施中。

いわき湯本温泉の旅館は、消毒や換気、チェックイン時の検温などさまざまな対策を行い、宿泊の客室とは別に個別会食室を設け

たり、家族風呂や貸し切り風呂を勧めるなど、感染症拡大には最大限の注意を払って、もてなしを続けている。

旧街道（県道56号）沿いには、老舗の鳥料理・唐揚げの名店「鳥静」、蕎麦の「やぶき庵」のほか、昨年七月にオープンした「チアフルカフェ」（味・逸品 三十二頁参照）など、飲食も楽しめる。

- 雨情の宿新つた 電話=43-1111
- ホテル美里 電話=42-2181
- 吹の湯旅館 電話=42-2158
- 温泉スタンド 電話=43-2175
- 鳥静 電話=43-5555
- そば処やぶき庵 電話=43-0104



コロナ禍の今、市内の温泉旅館に泊まって旅行気分を味わいたい

立ち並んでいる。かつては、旅館の浴衣姿で、下駄履きで町を歩く観光客が大勢見られ

あった客数だが、消費増税のあつた令和元年に減少に転

同神社に至る県道56号沿いには、「そば処やぶき庵」や、

だが、震災と原発事故の影響に、コロナ禍が加わって、苦戦が続く。

市、県が発表した観光統計資料によると、震災前の平成二十二年にいわき湯本温泉を訪れた観光客数は約五十九万人。震災後最も落ち込んだ同二十八年の二十九万八千四百五十一人を境に、フ

女将などの独自のPR作戦で持ち直しつつある。

各旅館や関係者の努力、国や県、市の観光振興策だけではかばいきれない状況であり、一刻も早いワクチン接種と感染症の収束を望みたい。

温泉の購入も

源泉そのままだと、強い酸性で風呂釜を傷めることになってしまうので、家庭の風呂では五倍から十倍程度薄めて、沸かし直しはせず、入浴後に流すとよい。

とはいえ、せっかく湯本に来たのであれば、温泉旅館に一泊し、料理と温泉と町の散策を堪能する、プチ旅行を楽しみたいものだ。

(和)



常磐支所でメダルを購入すれば、温泉が買える

食の安全・安心。さらに、おいしい

父の日に

感謝の気持ちを込めて...

シーフードケーキ

創作かまぼこ

かねまん

http://www.kaneman.net/
0120-17-3360

■ 電話・FAX・インターネットでも注文承ります。
■ 本店営業時間AM8:00~PM4:00(年中無休)

■ 本店
福島県いわき市平下高久字下原83
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■ いわき・ら・ミュウ店
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く
恵比寿様 大黒様



■ オンラインショップ
www.kaneman.net
インターネットでの注文はこちら▶

